

2025 年度日本造園学会全国大会 U-35 アイデアコロキウム 開催報告

■ 開催概要

名称：U-35 アイデアコロキウム

日時：2025 年 5 月 16 日（金）

会場：九段ハウス（東京都千代田区）

プログラム：

10:00～12:00 ポスター発表（1 次審査通過作品によるパネル展示・発表）

13:30～15:30 コロキウムⅠ（優秀作品プレゼンテーション・審査）

16:00～18:00 コロキウムⅡ（審査委員による討論）

18:00～20:00 交流会

■ 審査委員（6 名）

山崎 亮（株式会社 studio-L）

石川 由佳子（一般社団法人 for Cities）

馬場 正尊（株式会社オープン・エー）

三島 由樹（株式会社folk）

山田 紗子（合同会社山田紗子建築設計事務所）

吉川 稔（東邦レオ株式会社）

■ 応募状況

総応募数：102 件（個人・グループ）

1 次審査通過（コロキウム発表）：6 件

* 審査委員 6 名が全応募作品を評価し、審査委員会での協議を経て 1 次審査通過作品を選定。通過作品はコロキウム当日に発表を行った。

■ 受賞作品

【優秀賞】6 作品

No.1 『ochiba』農のある暮らし・循環の遊び場

— 都市型農業・緑地との連携による落ち葉循環の遊び場提案

No.2 Bask in the afterFlow ―再生水とぼくの出会いと旅立ちの物語
― 下水の地域内処理と再生水路による水循環の再生

No.3 東京ホ場化作戦～わたしが耕す街路から緑がめぐる～
― 街路ホ場 PFI 制度による住民参加型の街路緑化提案

No.4 風景を漕ぶ湊
― 住民主体の場づくりによる浅草の新たな湊概念の提案

No.5 孤独を相す
― 玉川上水旧水路緑道を舞台とした瞬間的な仲間意識の生成

No.6 Festa Tohyo ―開かれた政治、拓かれる未来
― 国会議事堂の公園化と投票フェス化による政治参加促進提案

【高校生奨励賞】（計 1 作品）

No.7 治
― 団地を対象に効率的な知水都持続可能な居住を統合する提案

■ 特記事項

- ・本コロキアムは公益社団法人日本造園学会 創立 100 周年記念事業として開催した。
- ・東京都都市整備局が後援に参加し、行政との連携体制のもと実施した。
- ・35 歳以下の若手建築家・造園家・都市デザイナーを対象に、100 年後の東京の風景をテーマとした作品を募集した。
- ・1 次審査は書類審査として全 102 作品を審査委員 6 名がそれぞれ評価した後、審査委員会で協議のうえ通過作品を決定した。
- ・高校生奨励賞は高等学校の授業・課外活動との連携を促進する観点から設けた。

主催：公益社団法人日本造園学会

実行委員：山崎嵩拓、遠藤賢也、坂本慧介、飯田晶子、横張真（東京大学）